

単価・歩掛等回答書

平成28年5月13日受付

質問	<p>物価資料の掲載単価から単位換算方法について</p> <p>下記の計算方法と考えてよろしいでしょうか</p> <p>例1) UZSYP050X01 VLGP 50mm 直管 建設物価:6330円、積算資料6940円 $6330円 \div 4m = 1582.5円$、$6940円 \div 4m = 1735$ (有効桁処理は行わず、端数処理は小数点3位以下切捨て) $(1582.5+1735) \div 2 = 1658.75円$ 採用単価は1650円(有効桁処理)</p> <p>例2) UZAXP050X01 (仮設)VLGP 50mm 直管 建設物価:6330円、積算資料6940円 $6330円 \div 4m \div 3 = 527.5円$、$6940円 \div 4m \div 3 = 578.33円$ (有効桁処理は行わず、端数処理は小数点3位以下切捨て) $(527.5円+578.33円) \div 2 = 552.915円$ 採用単価は552円(端数処理)</p> <p>例3) UZAXV100X001 (仮設)ソフトシール仕切弁(FCD) 100mm 建設物価:38500円、積算資料36300円 $38500円 \div 3 = 12833.33円$、$36300円 \div 3 = 12100円$ (有効桁処理は行わず、端数処理は小数点3位以下切捨て) $(12833.33円+12100円) \div 2 = 12466.665円$ 採用単価は12460円(有効桁処理)</p>
回答	<p>物価資料の単価の平均値に対して、さらに延長による割り返しをする連続計算をします。その結果について、規定の有効桁処理をして、材料単価を算出します。 仮設の場合は、さらにその材料単価に対して、転用回数による割り返しを行ない、その結果について、規定の有効桁処理したものを採用単価とします。</p> <p>例1) UZSYP050X01 VLGP 50mm 直管の場合 建設物価:6330円、積算資料6940円</p> <p>$(6330円+6940円) \div 2 \div 4m = 1658.75円$ 採用単価は1650円(有効桁処理)</p> <p>例2) UZAXP050X01 (仮設)VLGP 50mm 直管の場合 建設物価:6330円、積算資料6940円</p> <p>単位数量単価の計算 $(6330円+6940円) \div 2 \div 4m = 1658.75円$ 材料単価は1650円(有効桁処理)</p> <p>転用回数による割り返し $1650円 \div 3回 = 550.0円$ 採用単価は550円(有効桁処理)</p> <p>例3) UZAXV100X001 (仮設)ソフトシール仕切弁(FCD) 100mmの場合 建設物価:38500円、積算資料36300円</p> <p>材料単価の計算 $(38500円+36300円) \div 2 = 37400.0円$ 材料単価は37400円(有効桁処理)</p> <p>転用回数による割り返し $37400円 \div 3回 = 12466.66円$ 採用単価は12460円(有効桁処理)</p>
担当	小田原市水道局工務課整備係 TEL 0465-41-1228 FAX 0465-41-1239

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

単価・歩掛等回答書

平成28年5月17日受付

質問	<p>諸経費計算について</p> <p>スクラップ評価額、管財費控除、経費対象外費、一般管理費(率計算 + 契約保証補正)等の計算例を作成して欲しい。</p>
回答	<p>積算システムの変更に伴う、諸経費計算式(共通仮設費、現場管理費、一般管理費)について、旧システムからの変更点は下線箇所になります。</p> <p>【共通仮設費(率分)】 (対象額) $\frac{\text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} + \text{準備費の処分費} - \text{処分費控除額} - \text{経費対象外費} - \text{管材料費}(1/2) - \text{管材料費}[\text{支給品}](1/2)}{\text{率計上額}}$ 対象額 \times (率 + 地域補正 + 加算補正) / 100</p> <p>【現場管理費】 (対象額) $\frac{\text{純工事費} + \text{支給品費} - \text{処分費等控除額} - \text{経費対象外費} - \text{管材料費}(1/2) - \text{管材料費}[\text{支給品}](1/2)}{\text{率計上額}}$ 対象額 \times (率 + 地域補正 + 加算補正) / 100</p> <p>【一般管理費等】 (対象額) 工事原価 + 支給品費 - 処分費等控除額 - 経費対象外費 (率計上額) 対象額 \times (率 \times 前払補正 + 加算補正) / 100 (契約保証補正額) 対象額 \times 補正率 / 100 (金額) <u>率計上額 + 契約保証補正額</u></p> <p>経費対象外費については、各設計書の単価一覧表内にて、全間対象・現場、一般対象等の記載があります。</p>
担当	<p>小田原市水道局工務課整備係 TEL 0465-41-1228 FAX 0465-41-1239</p>

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

単価・歩掛等回答書

平成28年5月26日受付

質問	小田原市水道工事の積算における参考資料の24頁に記載されている1-1-6タンパ運転について、路盤工については「損料」と記載されていますが平成27年改訂版では水道事業実務必携には「賃料」となっております。どちらが正しいのでしょうか？
回答	平成27年改訂版水道事業実務必携P.155第31表のとおり、タンパ運転について「賃料」で積算をしてください。
担当	小田原市水道局工務課整備係 TEL 0465-41-1228 FAX 0465-41-1239

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

単価・歩掛等回答書

平成28年6月1日受付

質問	<p>メカニカル継手工について 下記の計算方法と考えてよろしいでしょうか</p> <p>例) 75 割増15% $0.05人 \times 1.15 \times 10口 = 0.575人$ (連続計算)</p> <p>溝切り・切断刃損耗費について 下記の計算方法と考えてよろしいでしょうか</p> <p>例) 公表年間見積 52,300円 400損耗費 0.089 $52,300円 \times 0.089 = 4654.7円$ 4,650円 (有効桁処理)</p>
回答	<p>メカニカル継手工について 質問の例のとおり連続計算で算出して下さい。</p> <p>溝切り・切断刃損耗費について 下記の計算方法のとおり算出して下さい。 例) 公表年間見積 52,300円 400損耗費 0.089 $52,300円 \times 0.089 = 4654.7円 = \underline{4,654円}$ (整数止め、小数点以下切捨て)</p>
担当	小田原市水道局工務課整備係 TEL 0465-41-1228 FAX 0465-41-1239

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

単価・歩掛等回答書

平成28年6月28日受付

<p>質問</p>	<p>月間物価資料(建設物価・積算資料)の単価設定について</p> <p>平成28年4月制定の小田原市水道工事の積算における積算資料のP2において今年度より平均値を採用する旨記述があります。</p> <p>また、P10の(3)端数処理及び表示基準 設計単価の端数処理の記述で有効桁数が載っておりますが、下記の場合は、どちらの端数処理になるのでしょうか。</p> <p>例)ダクタイル鋳鉄管 建設物価77,500 積算資料75,800の場合 $(77,500 + 75,800) \div 2 = 76,650$円(有効桁数処理前) 1万円以上のもは有効数字4桁(有効数字5桁目を切り捨て)とする。 < P10(3) -1 > 設計単価 = 76,650円 設計単価表又は月刊物価資料に有効数字の指定があるものは除く。 < P10(3) -4 > 設計単価 = 76,600円</p>
<p>回答</p>	<p>月間物価資料(建設物価・積算資料)の単価設定については、「小田原市水道工事の積算における積算資料」P.2に記載のとおり平均値を採用します。</p> <p>端数処理については、月刊物価資料の単価設定は、P.10「設計単価の端数処理4」に該当しますので、<u>端数処理は3桁</u>となります。</p> <p>例)ダクタイル鋳鉄管 建設物価77,500 積算資料75,800の場合 $(77,500 + 75,800) \div 2 = 76,650$円 端数処理は神奈川県土木整備局の土木工事資材単価表に月間物価資料の端数処理の指定があり、月刊物価資料の有効桁数により端数処理することとなっております。 よって、設計単価(採用単価) = 76,600円(有効数字3桁)となります。</p>
<p>担当</p>	<p>小田原市水道局工務課整備係 TEL 0465-41-1228 FAX 0465-41-1239</p>

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

単価・歩掛等回答書

平成28年9月1日受付

質問	<p>平成28年7月単価について</p> <p>施工パッケージ型の単価を積算するのに必要な標準単価・基準単価は平成26年4月の東京17区単価とし、地区単価は、神奈川県、平成28年7月単価で算出してよいのでしょうか。</p> <p>例) 現場発生品・支給品運搬工 平均積算質量0.1t超0.2t以下の場合【STSWP160XB01】</p> <p>標準単価・基準単価が平成26年4月の場合 8,230円</p> <p>標準単価・基準単価が平成27年4月の場合 8,164円</p> <p>土木工事標準積算基準書が平成27年7月より施工パッケージ型積算基準の標準単価・基準単価は平成26年4月を使うので の8,230円が正しい。</p>
回答	<p>平成28年7月単価について、施工パッケージ型の単価を積算するのに必要な標準単価・基準単価は、ご質問のとおり、平成26年4月の東京17区単価とし、地区単価についてもご質問のとおり、神奈川県の平成28年7月単価で算出して下さい。</p> <p>基準単価・・・平成26年4月 東京17区単価</p> <p>地区単価・・・平成28年7月 神奈川県単価</p>
担当	

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

単価・歩掛等回答書

平成28年9月28日受付

質問	<p>支給品費計の算出方法について、計算過程及び端数処理を明示ください。</p> <p>下記の条件の場合、共通仮設費算出に用いる支給品費計の算出方法。</p> <p>(条件) 150mm明示テープ巻付工の単価表にて算出される、100mあたりの明示テープ(支給品)の必要mは147.8mのため、同単価表1mあたりに必要な明示テープ(支給品)は1.478m(端数処理なし)となる。また、W=50mm明示テープの単価は、39円/mとする。</p> <p>mm鑄鉄管布設工 内の 150mm明示テープ巻付工 50.2mとする。 mm鑄鉄管布設工 内の 150mm明示テープ巻付工 20.6mとする。</p> <p>(計算例1) 合計 $(50.2+20.6) \text{ m} \times 1.478 \text{ m} = 104.6424 \text{ m}$ (小数第3位止め、小数第4位切捨て) 104.642m 支給品費計 $104.642 \text{ m} \times 39 \text{ 円} = 4,081.038 \text{ 円}$ (整数止め) 4,081円</p> <p>(計算例2) 合計 $50.2 \text{ m} \times 1.478 \text{ m} = 74.1956 \text{ m}$ (小数第3位止め、小数第4位切捨て) 74.195m $20.6 \text{ m} \times 1.478 \text{ m} = 30.4468 \text{ m}$ (小数第3位止め、小数第4位切捨て) 30.446m 支給品費計 $104.641 \text{ m} \times 39 \text{ 円} = 4,080.999 \text{ 円}$ (整数止め) 4,081円</p>
回答	<p>支給品費の算出方法については、別紙の計算例を参考にして下さい。</p> <p>初めに、明示テープ巻付け工における単価表にて、100m当りの単価を1m当りに換算し、m単価を算出し、端数処理をして下さい。(P.1)</p> <p>次に、実際に使用する数量に、m単価を乗じて支給品の金額を算出して下さい。(P.2)</p>
担当	<p>小田原市水道局工務課整備係 TEL 0465-41-1228 FAX 0465-41-1239</p>

注意事項

・再質問は再度FAXにてお送りください。

第0020号 単価表

100 m 当り

STSW026XB34 明示テープ 巻付工 (W=50mm)

φ150mm 支給品 珪粉体塗装管用

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
					小数点以下切捨て
(UZSYP001X010) 管材費(支給品) 明示テープ(支給品) W=50mm 内面珪粉体塗装管用	147.8	m	39	5,764	
	1	式			
合 計					小数点以下切捨て
	1	m		57	整数止め切捨て 円/m

単価表
 労務 (TDIP φ 150配水管布設工)

1 式 当り

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(STSW026XB34) 明示テープ 巻付工 (W=50mm) φ 150mm 支給品 エポキシ粉体塗装管用	50.2	m	57	2,861	第0020号単価表 小数点以下切捨て
	20.6		57	1,174	
					支給品費計
合 計				4,035	
	1	式			整数止め切捨て 円/式